

HITACHI

株式会社日立システムズ

先進の開発フレームワーク・クラウド型により新しく生まれ変わった
FutureStage 販売・生産管理のご紹介

2025/09/03(水)

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

日立 製造・流通業向け基幹業務ソリューション

FutureStage

つながる E R P でさらに進化する。

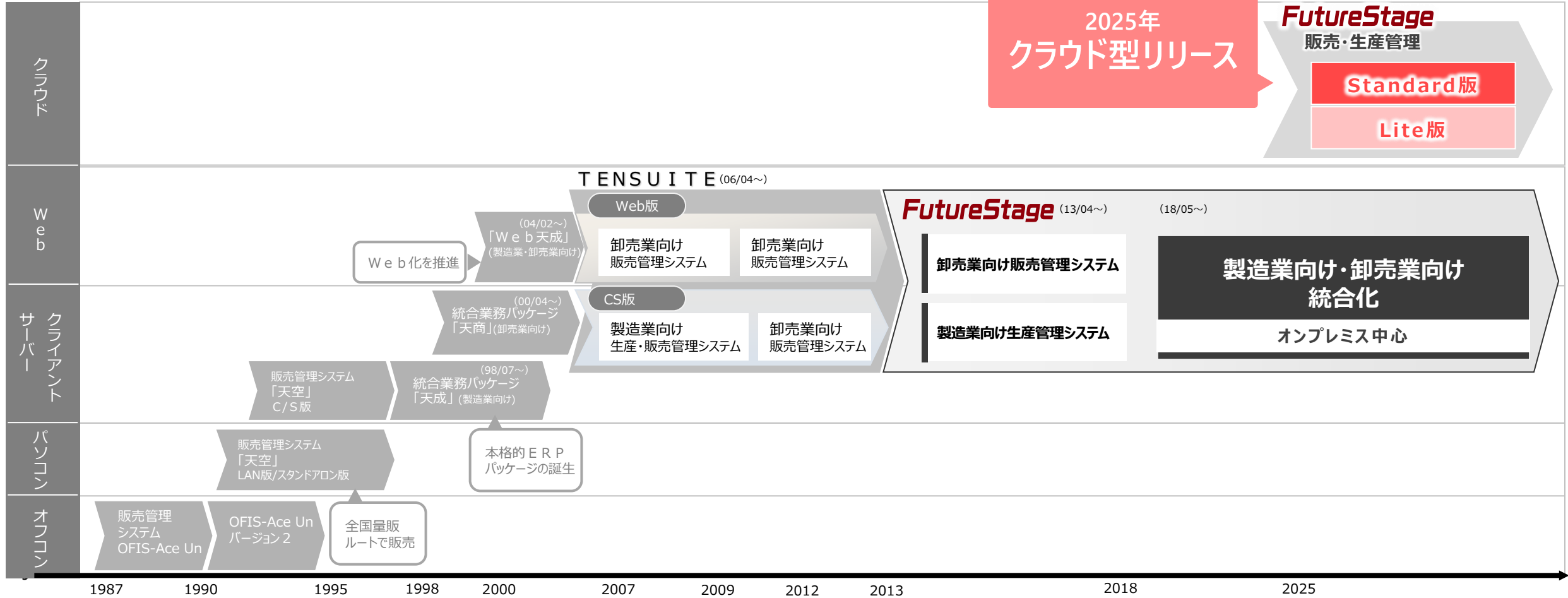
さあ、今こそ、次の成長ステージへ。

FutureStage オープニング 沿革

HITACHI

約4,500システムの
導入実績

40年の開発の歴史 FutureStage





IT人材不足の深刻化

オンプレミス型の業務パッケージは**利用継続が難しい**企業も多い

1

複雑化する 業務プロセス

- 多様な製品ラインナップや多チャネル販売により、業務が複雑化。**属人化や情報の断絶が発生**しやすい。
- 多品種少量や受注生産など生産形態の**多様化**。

2

システム老朽化と 運用コストの増大

- 従来のオンプレミスシステムは保守・運用コストが高く、**柔軟な拡張**が困難。
- サイバー攻撃の高度化により、**情報漏えいやシステム停止リスク**が増加。

3

日本独自の 商習慣への対応

- 海外製ERPでは**日本特有の商習慣**や法規制に対応しきれない。

4

オンプレミス型の 限界

- **IT人材不足**により継続運用が困難な企業が多くなってきている。
- **内部構造が複雑、バージョンアップ時の困難さ**、カスタマイズ部分の作り直し。

現場では・・・ 情報分断、属人化、改善スピードの遅れ

IT部門では・・・ 改修工数の増大、保守負担

経営層では・・・ 現場の可視化不足、意思決定の遅れ

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内



ERPクラウドへの投資 **増加傾向** が継続すると予想

ERP市場規模：2028年 約4,000億円に迫る見込み

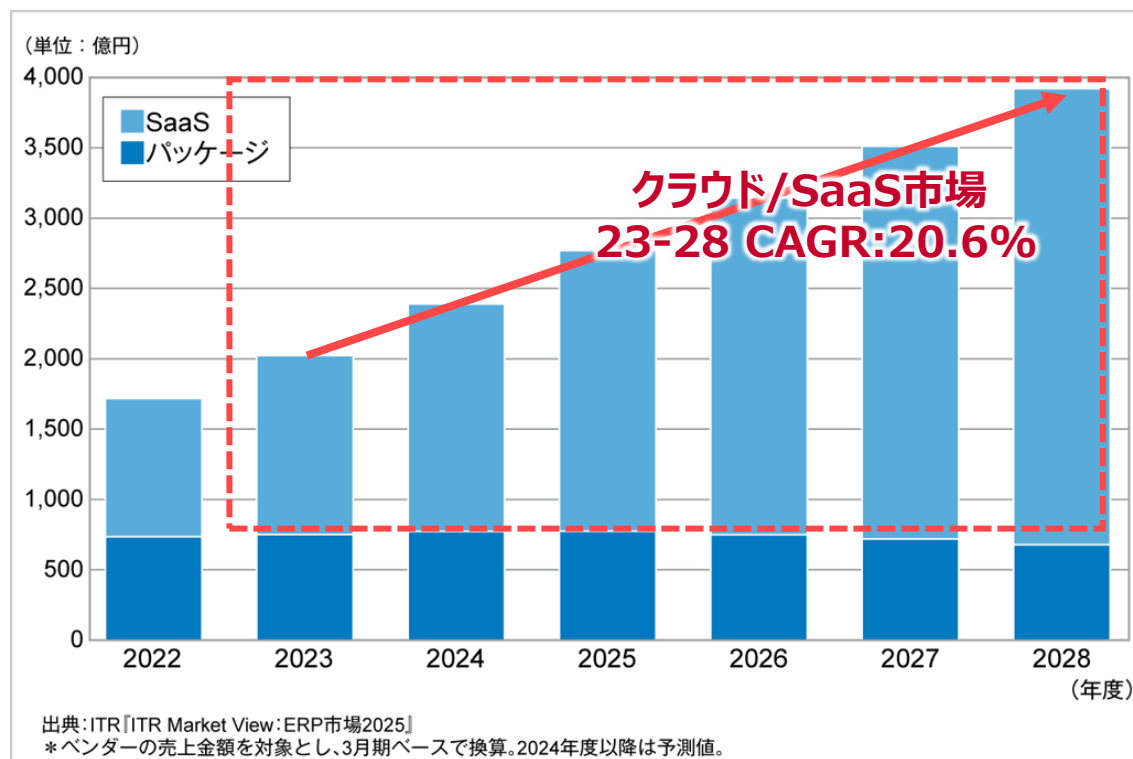


図1. ERP市場規模推移および予測：提供形態別(2022~2028年度)
ITR Market View：ERP市場2025 | 株式会社アイ・ティ・アールより引用

クラウド/SaaS市場は拡大

ERPクラウドシフトが顕著。

2028年にはクラウド分野へ支出額も78.6%に達する見込み

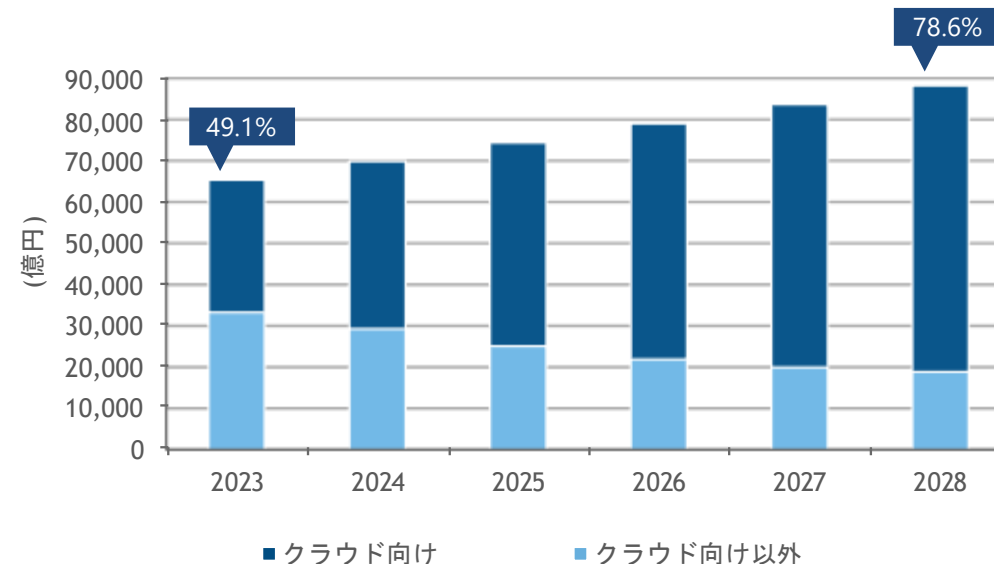


図2. IDC #JPJ50710324「国内クラウド向けITサービス市場予測、2024年~2028年」December 2024



各社オンプレ実績大も **SaaS・クラウドへの移行** を促進

アプリケーションPaaSは拡大傾向

各社動向 ※当社インターネット調査

	FutureStage	M社	O社	D社
中堅・中小規模への対応	○ 中堅・中小特化	△ 大規模	○ 中大規模	△ 中小特化
パートナー戦略への対応	△ パートナー強化中	○ 大規模Sier	× 直販のみ	◎ パートナー網整備
SaaS・クラウドへの対応	△→○ 過半数がオンプレ	△→○ 過半数がオンプレ	△→○ 過半数がオンプレ	△→○ 過半数がオンプレ
DXへの対応	○ Lumadaの強み	○ ものづくりクラウドを推進	△ ERP中心のビジネス	○ 見える化を安価提供
総合力	○ ワンストップサービス	○ 大企業中心	○ サービス・流通業中心	△ 生産管理特化戦略



パッケージの高性能を生かした**クラウド型**



システム運用やセキュリティ管理の**サポート**





Why **日立システムズ**? Why **クラウド型のFutureStage**?

経営環境の不確実性を乗り越え、
持続的成長を実現する「コンポーザブルERP」

将来的なAI機能の統合にも不可欠なアーキテクチャ

業務のコアを支えつつ、変化に即応できる柔軟な
IT基盤をSaaSとして提供

ビジネスの変化に合わせた
拡張性

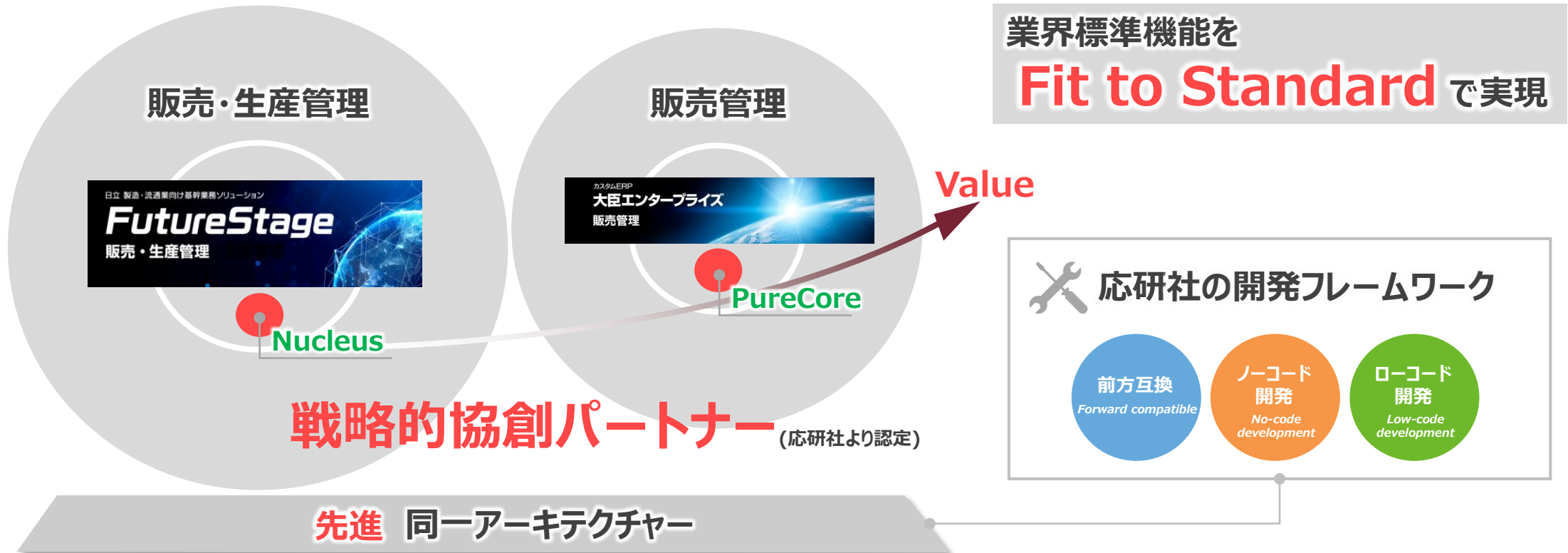
TCOを最適化し、経営資源をコア業務へ集中させる
「フルマネージドSaaS」へ

協創 (新しいFutureStageの核となる考え方)

応研株式会社(以降、応研社)との協創により『クラウド型のFutureStage』を開発

「大臣エンタープライズ」の販売管理機能を適用しながら、

当社が独自に販売・生産管理の機能を組み合わせ開発を行う **新たなクラウドサービス**

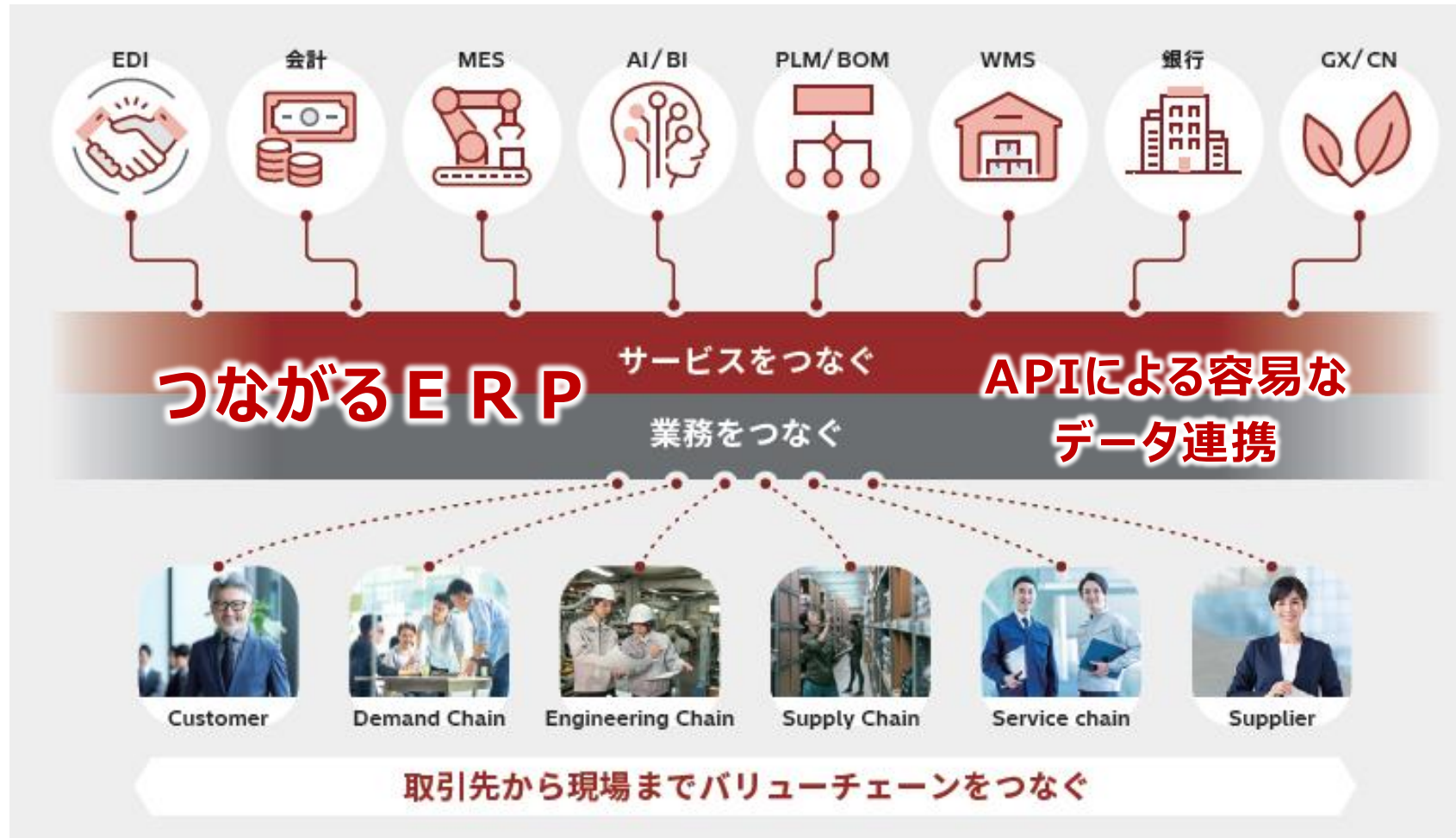


※大臣エンタープライズは応研株式会社の登録商標です

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要**
~クラウド型~
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

従来の基幹業務システム（ERP）の枠を超えた、 クラウド型ビジネスプラットフォームをめざす



サービスをつなぐ
業務をつなぐ

企業の根幹である基幹業務と
外部サービスを柔軟に連携

バリューチェーンをつなぐ

顧客やサプライヤーを含むバリュー
チェーン全体との連携強化を支援

将来のAI活用を
見据えたデータ基盤

🗨️ 日立システムズのFutureStageは何がいい？

🦾 長年、多数のプロジェクト経験による技術力



約**40**年の歴史

ノウハウを反映させたシステム



4,500システム以上の

導入実績,数多くのプロジェクト経験

🗺️ 日本企業に合わせた機能モジュール



国産ERP

日本独特の商習慣に
対応した業務機能



ハイブリッド生産管理

複数の生産形態に
ワンパッケージで対応可能

🔧 個別業務ロジックにも柔軟に対応可能



ノーコード、ローコード開発

柔軟で簡易な拡張を実現
納期短縮、コスト削減に寄与



**前方互換による
高い互換性**

簡易なバージョンアップとコスト削減

👉 包括的なビジネスサポート



**強固なセキュリティ
インフラ運用工数削減**

快適な運用と、強固なクラウドをインフラ基盤として提供



連携ソリューション

周辺システムまで含むトータルサポート

日立システムズのFutureStageは何がいい？

長年、多数のプロジェクト経験による技術力



約**40**年の歴史

ノウハウを反映させたシステム



4,500システム以上の

導入実績,数多くのプロジェクト経験

日本企業に合わせた機能モジュール



国産ERP

日本独特の商習慣に
対応した業務機能



ハイブリッド生産管理

複数の生産形態に
ワンパッケージで対応可能

クラウド対応でさらに強化



現場の声を反映した機能開発が可能
API連携による高い拡張性

ノーコード、ローコード開発

柔軟で簡易な拡張を実現
納期短縮、コスト削減に寄与



前方互換により
バージョンアップ対応が容易

**前方互換による
高い互換性**

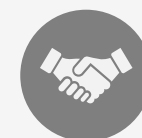
簡易なバージョンアップとコスト削減



脅威監視による事業継続性の確保

**強固なセキュリティ
インフラ運用工数削減**

快適な運用と、強固なクラウドをインフラ基盤として提供



連携ソリューション

周辺システムまで含むトータルサポート



豊富な導入実績

製造業・卸売業に特化したシステム（一部抜粋）

40年間でシリーズ累計**4,500**システム以上

製造業

機械器具製造業 （自動車を含む）	精密機械器具製造業	医療機械器具製造業	プラスチック加工 化学製品製造業	金属製品 非鉄金属製造業	その他製造業
---------------------	-----------	-----------	---------------------	-----------------	--------

<細業種>

- ・金属製品製造業：農業用器具製造業、暖房装置・配管工事用付属品製造業、配管工事用付属品製造業、建設用金属製品製造業、アルミニウム・同合金プレス製品製造業、金属プレス製品製造業、金属線製品製造業
- ・一般機械器具製造業：はん用内燃機関製造業、農業用機械製造業、建設機械・鉱山機械製造業、金属工作・加工機械製造業、金属工作機械製造業、食料品加工機械製造業、印刷・製本・紙工機械製造業、プラスチック加工機械・同付属装置製造業、ポンプ・同装置・気体圧縮機・送風機製造業、空気圧縮機・ガス圧縮機・送風機製造業、荷役運搬設備製造業、油圧・空圧機器製造業
- ・電気機械器具製造業：開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業、その他の産業用電気機械器具製造業、民生用電気機械器具製造業、電球・電気照明器具製造業、電子機器用部分品製造業、抵抗器・コンデンサー・変成器・複合部品製造業、コネクター・スイッチ・リレー製造業、電子計算機・電子応用装置製造業、その他の電子応用装置製造業
- ・輸送用機械器具製造業：自動車車体・付随車製造業、自動車用内燃機関製造業、自動車部分品・付属品製造業、鋼船製造・修理業、船用機関製造業、その他の輸送用機械器具製造業、産業用運搬車両・同部分品・付属品製造業

卸売業

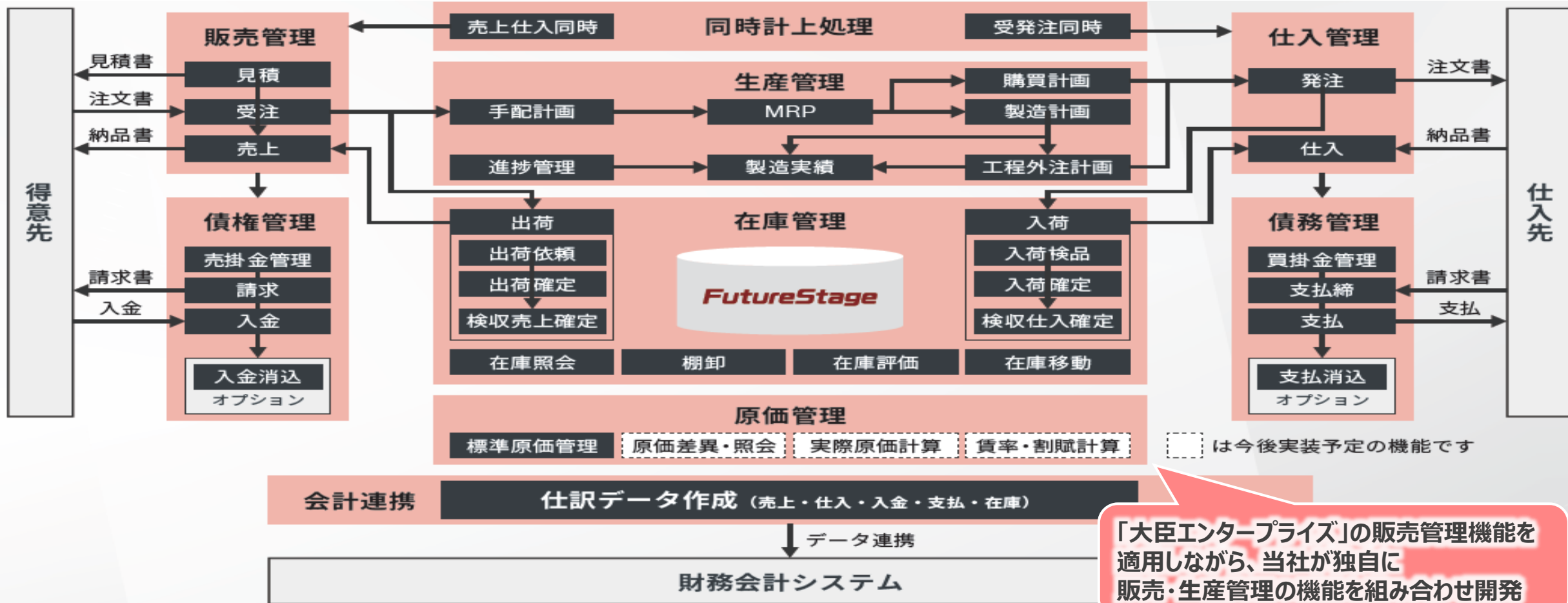
電気・一般機械卸売業 （自動車を含む）	精密・医療機械器具 卸売業	金属製品・ 金物卸売業	プラスチック・化学製品 卸売業	食品卸売業	その他卸売業
------------------------	------------------	----------------	--------------------	-------	--------

<細業種>

- ・卸売業：塗料卸売業、その他の化学製品卸売業、医療用品卸売業、酒類卸売業、その他の食料・飲料卸売業、家庭用電気機械器具卸売業、電気機械器具卸売業、自動車部分品・付属品卸売業、輸送用機械器具卸売業、農業用機械器具卸売業、機械工具卸売業、医療用機械器具卸売業、特殊産業用機械器具卸売業、その他の一般機械器具卸売業、金物卸売業

パッケージ全体像

販売-生産-購買-在庫-原価 までの一連の業務機能を標準装備
 日本ならではの商習慣に対応、お客さまの業務を強力にサポートします！



ニーズに合わせて選べる2つの提供モデル

「Lite版」「Standard版」の2つのモデルを用意

Lite版ではパッケージ標準導入、Standard版ではノーコード・ローコード開発に対応します！

	Lite版	Standard版
対象ユーザー	パッケージ標準機能での運用を基本とし、低コストで利用したい。	自社運用に合わせた機能拡張(ローコードプラグイン)を低コストで行いたい。
ユーザー数	1~50ユーザー	1ユーザー~
ノーコード開発	○	○
ローコード開発	×	○
導入期間目安	約7か月	約15か月
導入費用目安 (5年間でのトータル)	約2,000万円	約6,000万円
クラウド稼働時間	月曜日~土曜日 05:00~23:00	24時間、365日
DBスペック <small>※オプションで増強可能</small>	DBサイズ: 50GB DB能力: 2Core	DBサイズ: 100GB DB能力: 4Core

ローコード、ノーコードの特長

ノーコード開発 (拡張パラメーター)

「伝票入力画面設計(前方一致方式)」を採用し、多種ある拡張パラメーター(ノーコード)のみで導入が可能で「短期導入」を実現。

ローコード開発 (開発Kit)

独自処理はAPIを含めた開発Kit(ローコード)を提供することでアドオン開発が可能であり、開発工数・提供価格を圧縮できる。

Lite版は「スタートアップで小さく始めたい」、「夜間バッチ処理などを考慮しない、一般的な業務時間での利用」を想定したプランです。24時間稼働が必要な場合はStandard版をご利用ください。

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長**
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内



クラウド対応でさらに強化（前方互換、ノーコード・ローコード開発）

「Fit To Standard」をベースに **ノーコード・ローコード・法令追従** が可能



前方互換

Forward compatible

法改正や基本ソフト(OS)入れ替え時の **バージョンアップコストや時間** を抑制



ノーコード
開発

No-code
development

柔軟かつ迅速に **短期間で容易** に機能拡張ができる（ソースコードは非公開）



ローコード
開発

Low-code
development

システム本体の核となるNucleus(ニュークリアス)領域には影響を与えず

お客さま独自仕様への対応、品質の確保 ができる

FutureStage 主な特長

HITACHI



クラウド対応でさらに強化（前方互換、ノーコード・ローコード開発）



ノーコード・ローコード開発を行なっても

システム本体の核となる **Nucleus**(ニュークリアス) 領域に影響を与えない機能拡張が可能



ノーコード・ローコードで開発した機能はそのまま
新OS、法改正対応は **VerUp** で対応

製品のバージョンアップで **機能UP** の恩恵も継続的

バージョンアップ対応が容易



クラウド対応でさらに強化（前方互換、ノーコード・ローコード開発）

ノーコード
開発
No-code
development

帳票や入力画面設計、伝票の計算ロジックの変更など **視覚的かつ簡易に機能変更** が可能
(約500の拡張項目と1画面20パターンの画面設定を保持) ※伝票種により画面・帳票設計が異なります。(予定・検討中も含む)



画面設計

お客さま独自の分析項目や業種特有の管理項目を再現



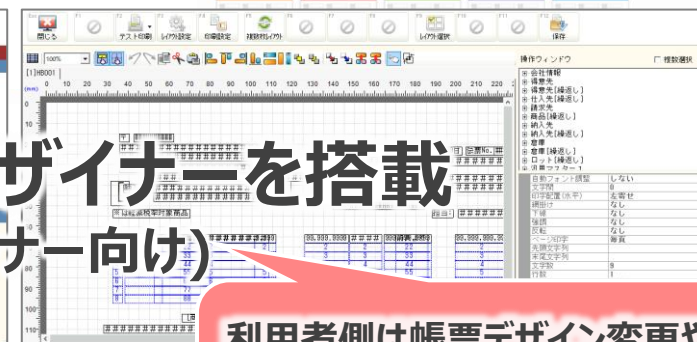
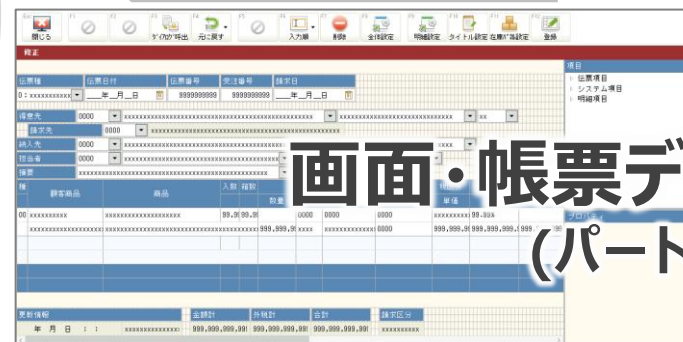
帳票編集

管理帳票の追加やメンテナンスが可能



計算式変更

伝票明細に四則計算や条件、関数などの計算ロジックを設定可能



画面・帳票デザイナーを搭載
(パートナー向け)

現場の声を反映した機能開発が可能

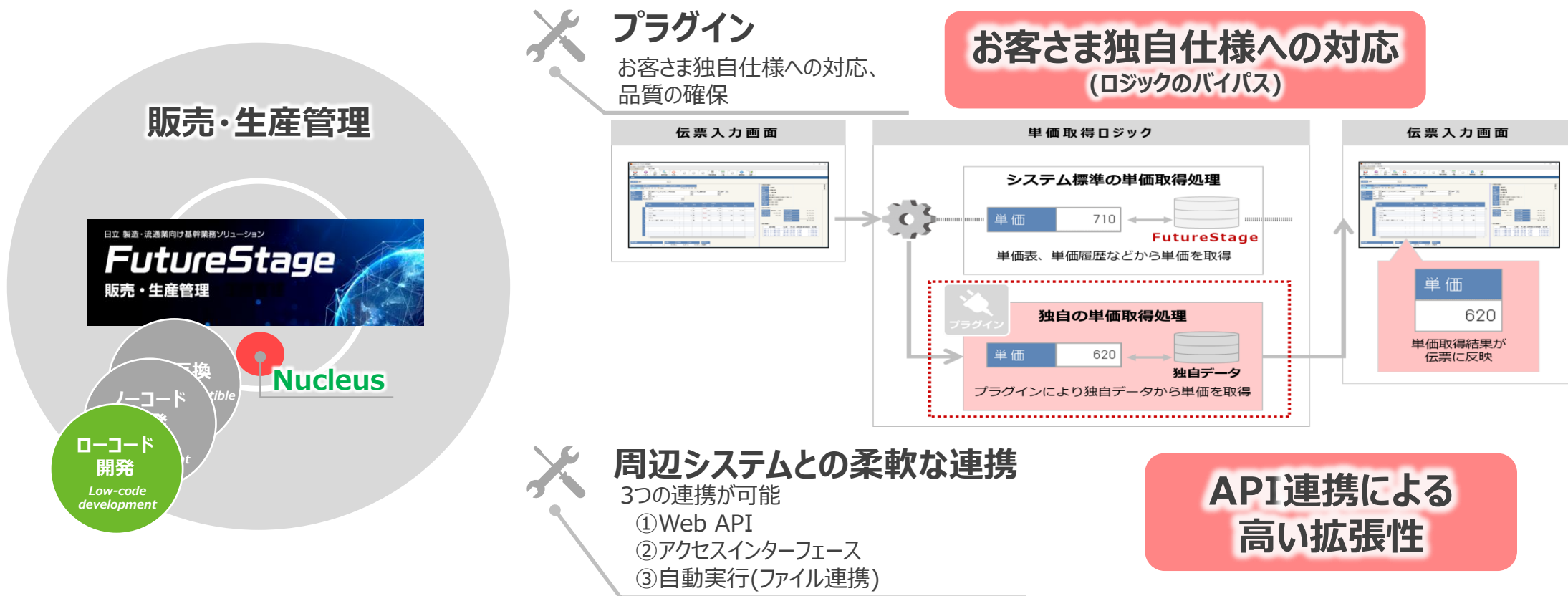
利用者側は帳票デザイン変更や問合せの設定・作成が可能
(利用者権限、標準項目の範囲)

💡 クラウド対応でさらに強化（前方互換、ノーコード・ローコード開発）

ローコード
開発
Low-code
development

必要な機能だけを差し替え・追加できる **プラグイン方式のシステム開発** が可能

標準機能をベースに一部機能のみをプラグインすることで **開発コスト** を抑えます



※伝票種により連携方式が異なります。(予定・検討中も含む)



クラウド対応でさらに強化（前方互換、ノーコード・ローコード開発）

クラウド型のFutureStage

ビジネスアジリティを高めるプラットフォーム

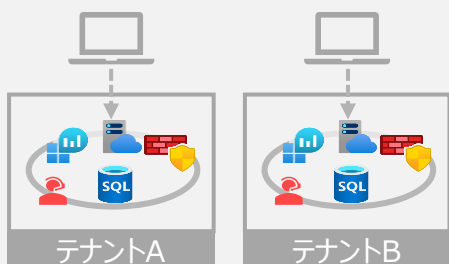


現場部門が自ら業務改善のサイクルを回すことが可能に。
これにより、開発のボトルネックを解消し、
「全社的なDX推進」を加速します。

💡 クラウド対応でさらに強化（セキュリティ）

日立システムズが運用する **強固なセキュリティ基盤**（セキュリティマネージドサービス）を提供

1 シングルテナント

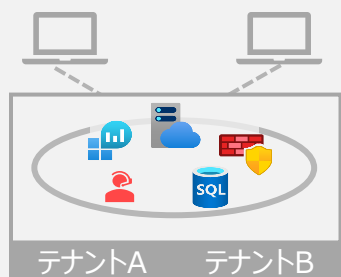


サイロモデル

必要なリソースすべてを専用リソースとして用意する方式

- ・完全分離で高いセキュリティを確保できる
- ・個別リソースのため、コストが高い
- ・個別に運用管理が必要となる

2 マルチテナント



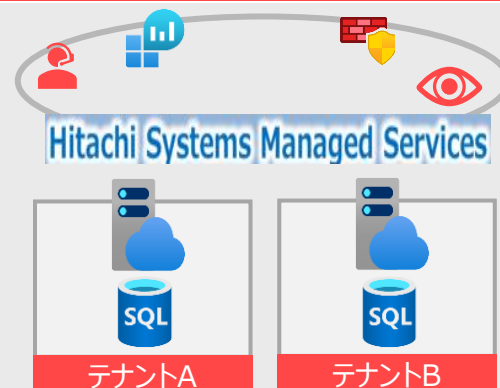
プールモデル

必要なリソースを共有リソースとして用意する方式

- ・共有リソースのため、コストが抑えられる
- ・セキュリティリスクおよびパフォーマンスリスクが高い
- ・カスタマイズなどの柔軟な対応ができない

3 ハイブリッド型テナント

採用



ブリッジモデル

リソース毎に共有または専用を選択する方式

- ・環境分離をすることでセキュリティ確保できる
- ・柔軟なカスタマイズ環境を提供できる
- ・集約できるリソースを共有化し、コストを低減できる

インフラ運用人材の採用・育成コストからの解放

リソース集約
セキュリティサービス適用

柔軟なカスタマイズ

データベースの分離

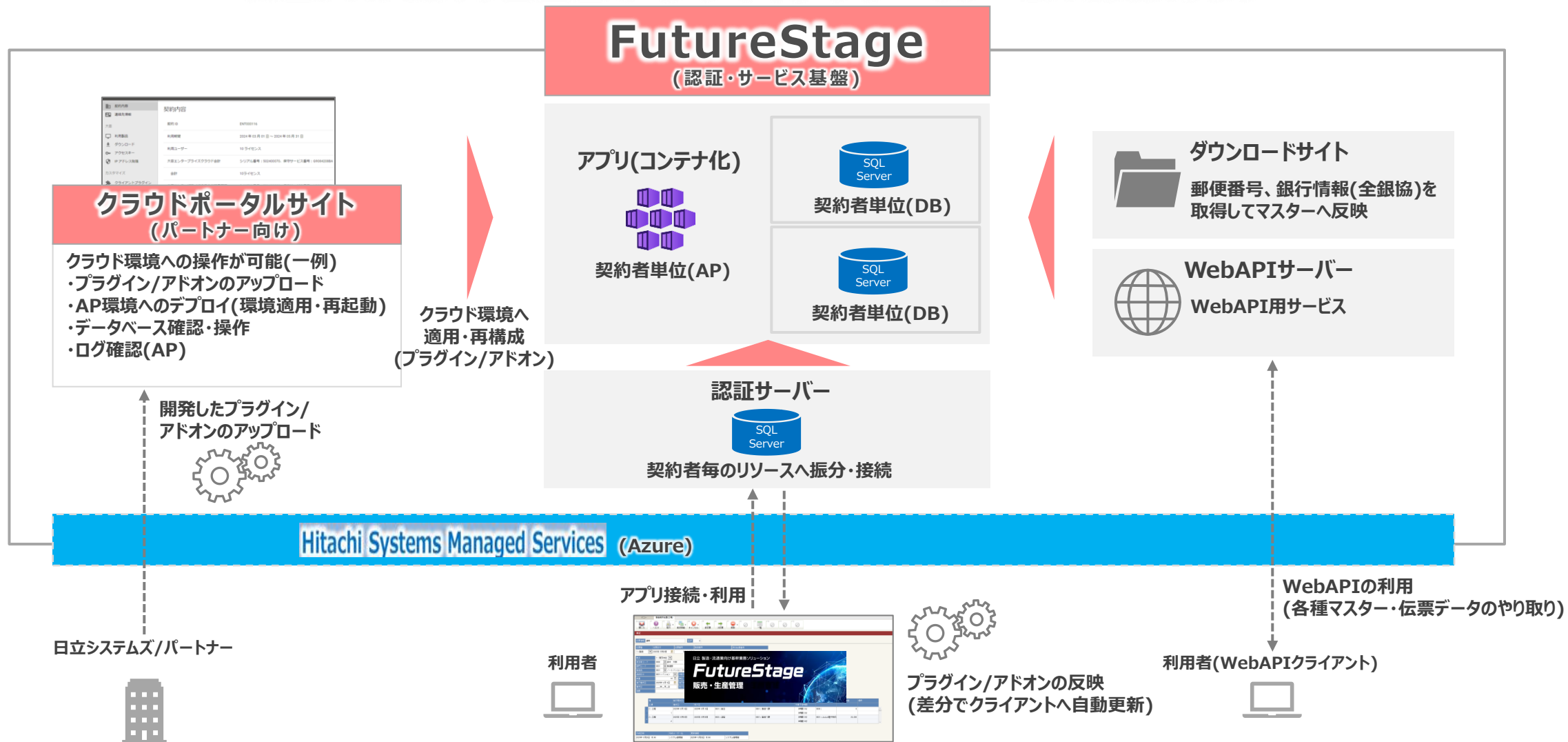
お客さまごとに 環境分離

24時間365日の脅威監視による事業継続性の確保

FutureStage 主な特長

サービス全体像

日立システムズの基盤上で **ワンストップ** でサービスを提供します



Contents

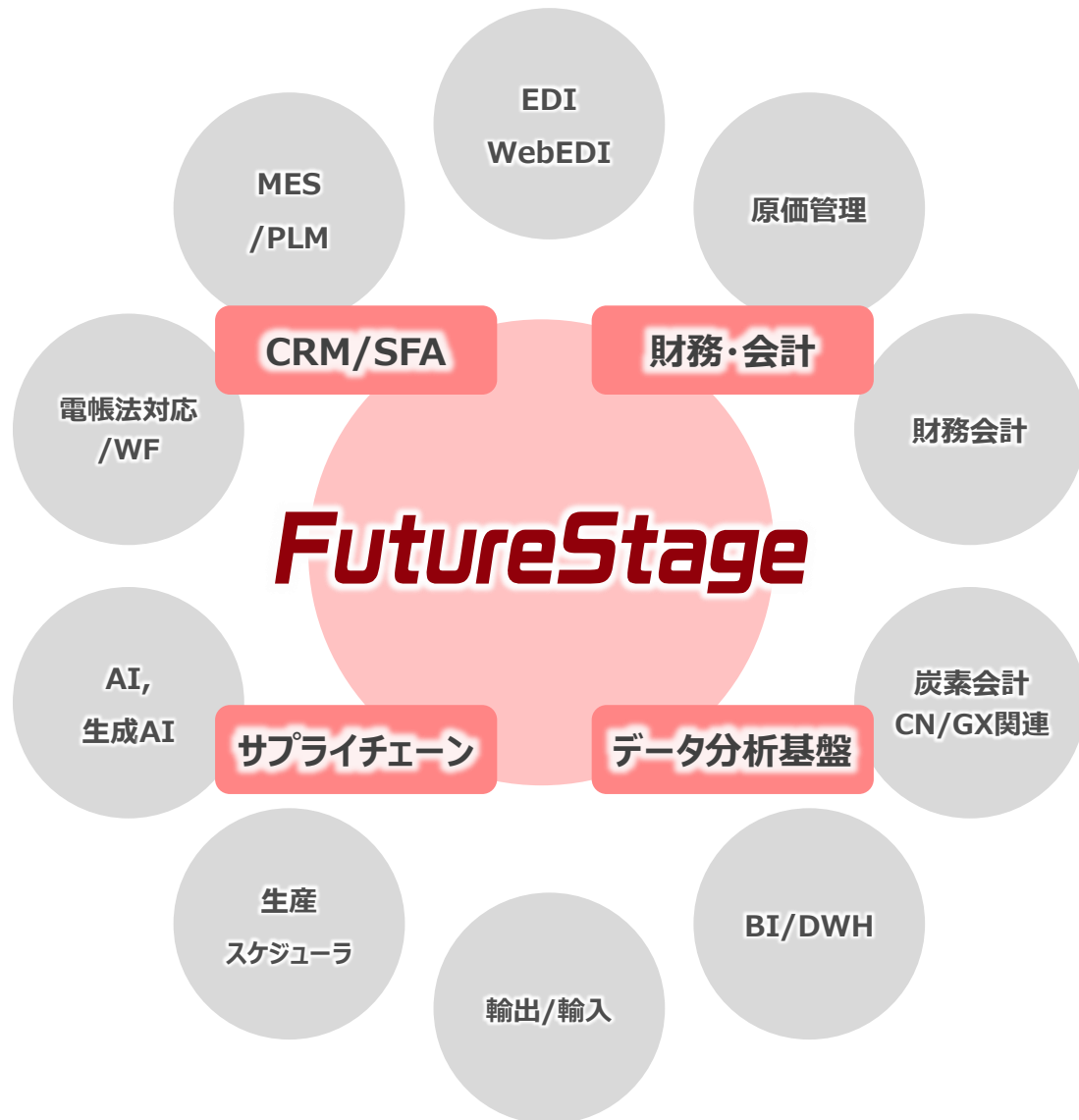
- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 **連携および周辺ソリューションのご紹介**
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

FutureStage 主な特長



多様な連携ソリューション

HITACHI



“つながるERP”

FutureStageは各領域の

ベスト・オブ・ブリード製品と連携することで、

ERPを中核とした柔軟なITエコシステムを構築可能

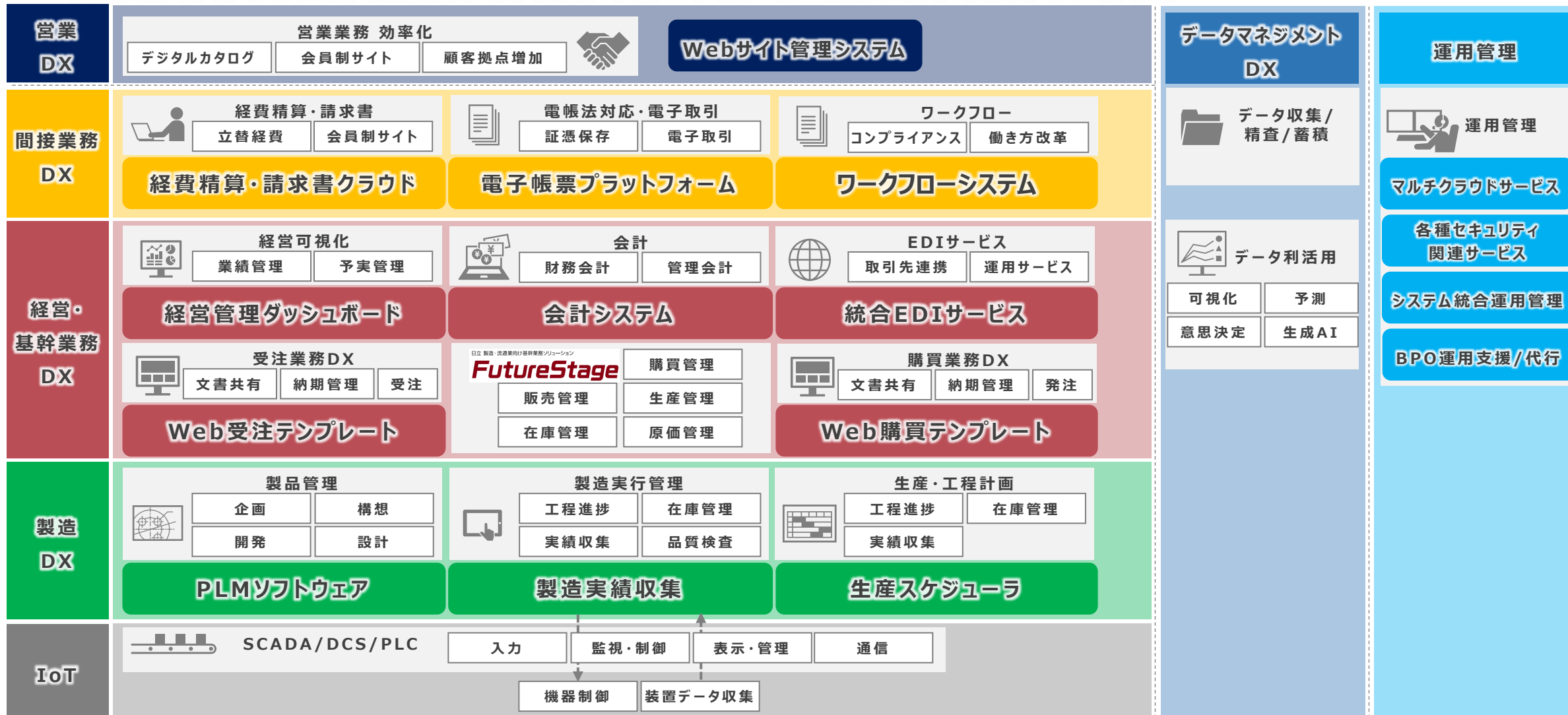
FutureStage 主な特長



多様な連携ソリューション

HITACHI

各業務現場のDX化を推進する周辺ソリューションも豊富に取りそろえています！



Contents

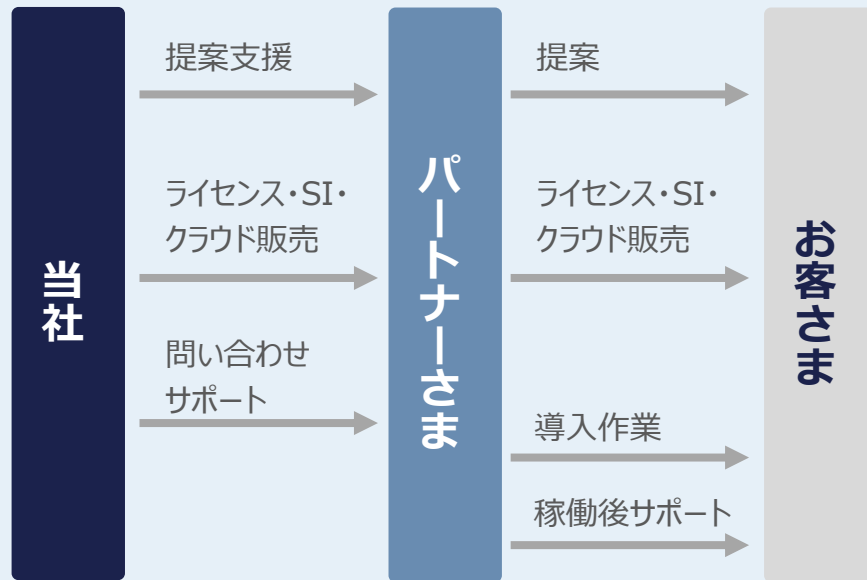
- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 **パートナー制度のご紹介**
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

FutureStageクラウドの拡販に向けてパートナーさまとのビジネスにも注力します。
円滑なサポートを実施いただくにあたり以下 2 タイプのパートナー制度をご準備しております

※基本契約締結要

開発パートナー

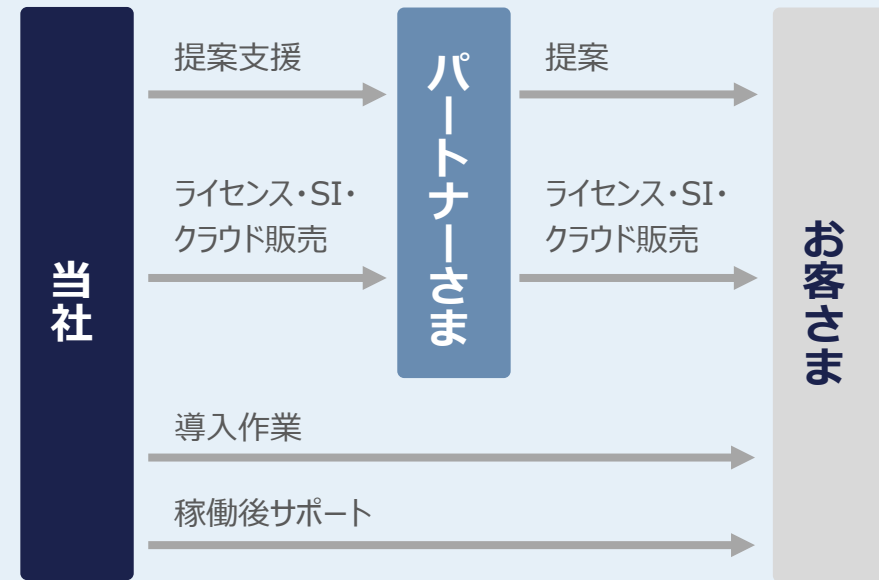
SI含めて自社サービスの一環として
エンドユーザーさま向けに対応いただくパートナー



- お客さまの契約窓口から、導入作業、稼働後のサポートまで担当いただけます。
- 当社はパートナーさま経由でクラウド環境の提供を行います。
- パートナー基本契約締結は必須ではありませんが、円滑にサポートさせていただくため推奨させていただきます。

販売パートナー

エンドユーザーとの契約窓口としてご対応いただくパートナー



- お客さまの契約窓口を担当いただけます。
- 導入作業および稼働後のサポートはパートナーさま経由で当社からご提供します。

パートナー契約を締結すると、パートナーさまの事業拡大につながります。

ご興味ございましたらお気軽にお声がけください！



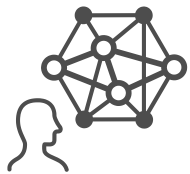
クラウドサービスで**安定**

クラウド利用により安定したサービス事業が見込めます。



パートナーさまと**案件創出**

日立システムズと案件創出、販路拡大につながります。



独自テンプレート開発による差別化

開発パートナーさまには開発kitを提供します。

アドオン開発した機能は独自テンプレートとして優位性を持たせることが可能です。

Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内



進化を続ける『FutureStageのクラウド版』

生成AIとの連携 による需要予測・最適化、**海外展開** を視野に入れた拡張性

製造業向けアシスタントAI (日立システムズの生成AIサービス)

サービス開始

**25/12開始
(先行25/11)**

試行予定

ユーザーオンボーディング

利用状況～フィードバック収集から改善へ

検討中

部品・アドオン流通

製造PG・部品流通による全体の効率化(品質確認や基盤が課題)

生成AI (Ver1.0)

<業務改善>(人が作業←AI補助)
・業務レポート作成
・社内ナレッジの検索・要約

生成AI (Ver2.0)

<活動最適化>(AIが作業←人補助)
・在庫基準の最適化、販売・生産計画連携
・MRO関連業務の効率化(設備・治具)

2025
3Q

2025
4Q

2026
2Q

2026
4Q

2027

2028

2030

新機能・拡張

・[生産] 実際原価管理

継続

・[販売] 承認機能

・[共通] BIテンプレート拡張

・[共通] 海外対応

グローバル対応

・各種海外法規への対応
・グローバルサポート体制構築

改善対応

・UI/UX、マニュアル

API連携強化

・新規連携商材(2製品)

業種別テンプレート

・新規テンプレート追加(2業種)

動向を注視

・Gartner社の予測(2025年時点)
2028年までに、エージェントAIを組み込んだ企業向けソフトウェアが33%に達する見通し(2024年は1%未満)

引用元: [How Intelligent Agents in AI Can Work Alone | Gartner](#)
©Hitachi Systems, Ltd. 2025. All rights reserved



業界・業務に精通した専門知識

日立システムズは、1987年から製造・流通業の基幹システム構築に携わり、特定の業界や業務に精通したドメインナレッジを保有。周辺領域も含め、適切なソリューションをご提案します。



スムーズな導入を支援

上流工程における環境・マニュアルの提供、導入手順のテンプレート化など、スムーズな導入の実現に向けて豊富なリソースを提供。Fit to Standardのシステム導入を支援します。



24時間365日監視、導入後も迅速で安心のサポート

クラウド基盤の24時間365日運用監視に加え、操作方法などのお問い合わせにも迅速に対応。サポートセンターと連携し、万が一のトラブルにも迅速に問題解決へ。導入後の安定稼働をサポートします。

クラウド型のFutureStage

業務とITを知り尽くしたチームによる、日立独自の導入メソッドロジー「Customer Success Framework」に基づき、
プロジェクトを成功に導きます。

定期的な活用状況の評価と改善提案を行い、
お客さまの**継続的な価値向上**を支援します。

日立 製造・流通業向け基幹業務ソリューション

FutureStage

つながる E R P でさらに進化する。

さあ、今こそ、次の成長ステージへ。

日立グループの技術を結集した販売・生産管理システム
FutureStageの詳しい情報、お問い合わせはWebサイトをご覧ください

導入事例や機能詳細など詳しい資料を用意しています

日立システムズ FutureStage

検索

www.hitachi-systems.com/ind/fs/



Contents

- 01 オープニング
- 02 市場動向と開発の背景
- 03 FutureStage 概要
～クラウド型～
- 04 主な特長
 - 前方互換
 - ノーコード、ローコード
 - セキュリティ
- 05 連携および周辺ソリューションのご紹介
- 06 パートナー制度のご紹介
- 07 今後の展望
- 08 特設展示会場のご案内

FutureStage特別展示会場を

4 F (1つ下のフロア)に準備しています！

ミニセミナーやデモ実演、
連携ソリューション等をご覧いただけます！

是非お立ち寄りください！

HITACHI